理系数学サマリー正誤表

(2016 年 12 月 20 日版)

初版第 1 刷にある間違いを記載しています．第 2 刷以降では，修正済の事項もあります．

● 目次 (第 2 刷で修正)

目次のページ番号の中で，以下の 27 個のページ番号が間違っていて，正しいページ番号より 1 だけ小さい値になっていました．

1.1.6 三角関数の巾級数表示　28 → 29
1.1.13 三角関数の合成　31 → 32
1.2.2 指数関数　35 → 36
1.2.5 複素数の対数関数・指数関数　37 → 38
1.3.3 逆正接関数　41 → 42
1.4.6 初等関数で表せない有名な積分　49 → 50
2.5.4 球面上の 2 点間の距離　67 → 68
3.2.3 方巾　77 → 78
3.3.2 双曲線　81 → 82
3.5.3 球面の方程式　91 → 92
4.1.2 行列の演算　94 → 95
4.3.6 ベクトル積　108 → 109
4.4.2 次元と基底　111 → 112
4.6.3 添え字の上げ下げ　119 → 120
5.1.2 区間　122 → 123
5.1.4 微分　123 → 124
5.4.5 重積分の定義　145 → 146
5.4.7 重積分の計算方法　147 → 148
5.4.8 重積分の変数変換公式　150 → 151
5.5.3 孤立特異点　164 → 165

5.5.5 収束半径と特異点　167 → 168

5.6.3 テータ関数　173 → 174

6.2.2 フーリエ級数　186 → 187

6.3.4 球ベッセル関数　195 → 196

6.4.8 シュレジンガー方程式 → シュレティンガー方程式

7.1.3 3 次方程式　215 → 216

8.1.7 合同式における割り算　248 → 249

8.3.6 合成写像　259 → 260

● p.8, 下から 4 〜 5 行目 ($k = 1 \to k = 2$) (第 2 刷で修正)

誤:

$$\sum_{m=1}^{\infty}\sum_{n=1}^{\infty} a_{mn} = \sum_{n=1}^{\infty}\sum_{m=1}^{\infty} a_{mn} = \sum_{k=1}^{\infty}\sum_{m+n=k} a_{mn}$$

$$\prod_{m=1}^{\infty}\prod_{n=1}^{\infty} a_{mn} = \prod_{n=1}^{\infty}\prod_{m=1}^{\infty} a_{mn} = \prod_{k=1}^{\infty}\prod_{m+n=k} a_{mn}$$

正:

$$\sum_{m=1}^{\infty}\sum_{n=1}^{\infty} a_{mn} = \sum_{n=1}^{\infty}\sum_{m=1}^{\infty} a_{mn} = \sum_{k=2}^{\infty}\sum_{m+n=k} a_{mn}$$

$$\prod_{m=1}^{\infty}\prod_{n=1}^{\infty} a_{mn} = \prod_{n=1}^{\infty}\prod_{m=1}^{\infty} a_{mn} = \prod_{k=2}^{\infty}\prod_{m+n=k} a_{mn}$$

● p.9, 9 行目 (第 2 刷で修正)

誤: あまり流布しれいないが,

正: あまり流布していないが,

● p.12, 9 行目 (枠囲み内) (第 2 刷で修正)

誤: $\dfrac{n!}{r!(n-1)!}$

正: $\dfrac{n!}{r!(n-r)!}$

● p.12, 下から 9 行目 (枠囲み内) (第 2 刷で修正)

誤: $\dfrac{1}{(1-x)^{r+1}} = \displaystyle\sum_{n=0}^{\infty} \binom{n+r-1}{r} x^n$

正: $\dfrac{1}{(1-x)^{n}} = \displaystyle\sum_{r=0}^{\infty} \binom{n+r-1}{r} x^r$

● p.14, 下から 2 行目 (枠囲み内) (第 2 刷で修正)

誤: (実数数全体の集合)

正: (実数全体の集合)

● p.22, 下から 14 行目 (コンマが 1 つ抜けています) (第 2 刷で修正)

誤: なお，$F(x,\ y)$, $\varphi_1(x,\ y)$ $\varphi_2(x,\ y)$ が x, y の多項式や有理式の場合には,

正: なお，$F(x,\ y)$, $\varphi_1(x,\ y)$, $\varphi_2(x,\ y)$ が x, y の多項式や有理式の場合には,

● p.24, 下から 11 行目 (第 2 刷で修正)

誤: 上に点 P をとる．x-軸上の点 (1, 0) から点 P まで半時計回りに円周上を

正: 上に点 P をとる．x-軸上の点 (1, 0) から点 P まで反時計回りに円周上を

● p.32, 4 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $a\sin\theta + b\cos\theta = (r\cos\alpha)\sin\theta + (r\cos\alpha)\sin\theta = r\sin(\theta+\alpha)$

正: $a\sin\theta + b\cos\theta = (r\cos\alpha)\sin\theta + (r\sin\alpha)\cos\theta = r\sin(\theta+\alpha)$

● p.32, 12 行目 (最初の枠囲みの下の 3 行目) (第 3 刷で修正)

誤: だたし　$\sin\beta = -\dfrac{a}{\sqrt{a^2+b^2}}$,

正: ただし　$\sin\beta = -\dfrac{a}{\sqrt{a^2+b^2}}$,

● p.34, 10 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $e^x = \cos x + i\sin x$ を発見し，初等関数の間の関係を明らかにした.

正: $e^{ix} = \cos x + i\sin x$ を発見し，初等関数の間の関係を明らかにした.

● p.36, 1 行目 (第 2 刷で修正)

誤: **1.2.2 指数数関数**

正: **1.2.2 指数関数**

● p.41, 下から 11 行目 **1.3.2 逆余弦関数** の次の行 (第 2 刷で修正)

誤: $x = \cos y$ の定義域を $0 \leqq y \leqq \pi$ に正弦して考えた逆関数を,

正: $x = \cos y$ の定義域を $0 \leqq y \leqq \pi$ に制限して考えた逆関数を,

● p.42, 12 行目 (第 3 刷で修正)

誤: $|x| \leqq 1$ (x は複素数) の場合には,

正: $|x| < 1$ (x は複素数) の場合には,

● p.42, 下から 4 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $\pi = 3.14159265358979232846264338327950284197 1\cdots$ は,

正: $\pi = 3.14159265358979323846264338327950288419 71\cdots$ は,

● p.44, グラフの下から数えて 4 〜 5 行目 (第 2 刷で修正)

誤:

$$\cosh^{-1} x = \log_e\left(x + \sqrt{x^2+1}\right)$$

$$\sinh^{-1} x = \pm \log_e \left(x + \sqrt{x^2 - 1} \right)$$

正:

$$\sinh^{-1} x = \log_e \left(x + \sqrt{x^2 + 1} \right)$$
$$\cosh^{-1} x = \pm \log_e \left(x + \sqrt{x^2 - 1} \right)$$

● p.44, 下から 2 行目 (第 3 刷で修正)

旧: $\dfrac{d}{dx} \cosh^{-1} x = \dfrac{1}{\sqrt{x^2 - 1}}$

新: $\dfrac{d}{dx} \cosh^{-1} x = \pm \dfrac{1}{\sqrt{x^2 - 1}}$

解説: $\cosh x$ の定義域を $x \geqq 0$ に制限して $\cosh^{-1} x$ を定義すると，$\dfrac{d}{dx} \cosh^{-1} x = \dfrac{1}{\sqrt{x^2 - 1}}$ ですが，$\cosh x$ の定義域を実数全体で考え，多価関数として $\cosh^{-1} x$ を定義すると，$\dfrac{d}{dx} \cosh^{-1} x = \pm \dfrac{1}{\sqrt{x^2 - 1}}$ になります.

● p.49, 下から 3 行目 (第 2 刷で修正)

誤: ゴンベルツ曲線

正: ゴンペルツ曲線

● p.50, 枠囲み内，下から 1 行目と 2 行目 (2 ケ所)

誤: (Frensel 積分)

正: (Fresnel 積分)

● p.56, 8 行目 (「座標平面上の三角形の面積」の枠囲みの中の 1 行目) (第 2 刷で修正)

誤: (1) O, A, B が半時計回りに並んでいる場合

正: (1) O, A, B が反時計回りに並んでいる場合

● p.56, 下から 4 行目 (第 2 刷で修正)

誤: (1) A, B, C が半時計回りに並んでいる場合

正: (1) A, B, C が反時計回りに並んでいる場合

● p.60, 下の枠囲み内の 1 行目 (第 2 刷で修正)

誤: (1) O から見て A, B, C が時計回りに並んでいる場合,

正: (1) O から見て A, B, C が反時計回りに並んでいる場合,

● p.62, 下から 4 行目 枠囲みの見出し (第 2 刷で修正)

誤: 台形 6 面体の体積

正: 台形六面体の体積

● p.65, 3 行目 (コンマをとる) (第 2 刷で修正)

誤: 日本では，高校で学習しないので馴染みが薄いが,

正: 日本では高校で学習しないので馴染みが薄いが,

● p.82, 下から 3 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $|\mathrm{FP}| - |\mathrm{F'P}| = \pm a$

正: $|\mathrm{FP}| - |\mathrm{F'P}| = \pm 2a$

● p.89, 中ほどの枠囲み (2 次曲線の極線) の直前の行 (第 2 刷で修正)

誤; 曲線 $\mathrm{T}_1\mathrm{T}_2$ の方程式は,

正: 極線 $\mathrm{T}_1\mathrm{T}_2$ の方程式は,

● p.91, 下から 2 行目 (第 3 刷で修正)

誤: $\begin{vmatrix} x & y & z & 1 \\ x_1 & y_1 & z_1 & 1 \\ x_2 & y_2 & z_2 & 1 \\ x_3 & y_3 & z_3 & 1 \end{vmatrix} = 1$

正: $\begin{vmatrix} x & y & z & 1 \\ x_1 & y_1 & z_1 & 1 \\ x_2 & y_2 & z_2 & 1 \\ x_3 & y_3 & z_3 & 1 \end{vmatrix} = 0$

● p.100, 下から 4 行目 (第 2 刷で修正)

誤: (対角線より右下の成分は，行列式の値に影響しない．)

正: (対角線より右上の成分は，行列式の値に影響しない．)

● p.101, 一番下の連立方程式 (第 2 刷で修正)

誤:

$$\begin{cases} a_{11}x_1 + a_{12}x_2 + \cdots + a_{1n}x_n = 0 \\ a_{21}x_1 + a_{22}x_2 + \cdots + a_{2n}x_n = 0 \\ \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots \\ a_{n1}x_1 + a_{n2}x_2 + \cdots + a_{nn}x_n = 0 \end{cases}$$

正:

$$\begin{cases} a_{11}x_1 + a_{12}x_2 + \cdots + a_{1n}x_n = b_1 \\ a_{21}x_1 + a_{22}x_2 + \cdots + a_{2n}x_n = b_2 \\ \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots \\ a_{n1}x_1 + a_{n2}x_2 + \cdots + a_{nn}x_n = b_n \end{cases}$$

● p.104, 2 行目

旧: $\mathbf{x} \cdot \mathbf{y} \leqq |\mathbf{x}| \cdot |\mathbf{y}|$

新: $-|\mathbf{x}| \cdot |\mathbf{y}| \leqq \mathbf{x} \cdot \mathbf{y} \leqq |\mathbf{x}| \cdot |\mathbf{y}|$

● p.105, 11 〜 13 行目 (「3 次元の回転」の枠囲みの中) (第 2 刷で修正)

以下のように, 2 つ目の行列 $\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 0 & \cos\beta & -\sin\beta \\ 0 & \sin\beta & \cos\beta \end{pmatrix}$ の (1, 3)-成分 (右上の成分) が 1 ではなく 0 です。

誤:

3 次元の回転

$$\begin{pmatrix} \cos\alpha & -\sin\alpha & 0 \\ \sin\alpha & \cos\alpha & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 0 & \cos\beta & -\sin\beta \\ 0 & \sin\beta & \cos\beta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \cos\gamma & 0 & \sin\gamma \\ 0 & 1 & 0 \\ -\sin\gamma & 0 & \cos\gamma \end{pmatrix}$$

正:

3 次元の回転

$$\begin{pmatrix} \cos\alpha & -\sin\alpha & 0 \\ \sin\alpha & \cos\alpha & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & \cos\beta & -\sin\beta \\ 0 & \sin\beta & \cos\beta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \cos\gamma & 0 & \sin\gamma \\ 0 & 1 & 0 \\ -\sin\gamma & 0 & \cos\gamma \end{pmatrix}$$

● p.114, **4.5.1 基本概念**の 2 行後 (第 2 刷で修正)

誤: I は n 次の単位とする.

正: I は n 次の単位行列とする.

● p.138, 6 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $(a_1,\ldots, a_r)$ の十分近く

正: $(a_1,\ldots, a_n)$ の十分近く

● p.152 下から 6 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $T = \left\{(r,\,\theta) \in \mathbb{R}^2 \;\middle|\; 0 \leqq r \leqq R,\, 0 \leqq r \leqq 2\pi\right\}$

正: $T = \left\{(r,\,\theta) \in \mathbb{R}^2 \;\middle|\; 0 \leqq r \leqq R,\, 0 \leqq \theta \leqq 2\pi\right\}$

● p.153 下から 3 行目 枠囲み内の最後の行 (第 2 刷で修正)

誤: $\cdot r^2 \sin\theta\, dr\, d\varphi\, d\theta$

正: $\cdot r^2 \sin\theta\, dr\, d\theta\, d\varphi$

● p.157 下から 3 行目 枠囲みの中 (第 2 刷で修正)

誤: $\operatorname{rot} \mathbf{v} = \left(\dfrac{\partial f_3}{\partial y} - \dfrac{\partial f_2}{\partial z},\ \dfrac{\partial f_1}{\partial z} - \dfrac{\partial f_3}{\partial x},\ \dfrac{\partial f_2}{\partial x} - \dfrac{\partial f_1}{\partial y}\right)$

正: $\mathrm{rot}\,\mathbf{v} = \left(\dfrac{\partial v_3}{\partial y} - \dfrac{\partial v_2}{\partial z},\ \dfrac{\partial v_1}{\partial z} - \dfrac{\partial v_3}{\partial x},\ \dfrac{\partial v_2}{\partial x} - \dfrac{\partial v_1}{\partial y}\right)$

● p.158 **5.4.13 平面上のガウスの定理** の次とその次の行 (第 2 刷で修正)
誤: D の境界は有限個の滑らかな有限個の曲線の和集合であるとする.
正: D の境界は有限個の滑らかなの曲線の和集合であるとする.

● p.164 下から 5 行目 枠囲み内 1 行目 (第 2 刷で修正)
誤: 単純曲線
正: 単純閉曲線

● p.166 下から 6 行目 **5.5.4 ローラン展開** の次の行 (第 2 刷で修正)
誤: 単純曲線
正: 単純閉曲線

● p.166 下から 3 行目 (第 2 刷で修正)
誤: 左辺の積分は,
正: 右辺の積分は,

● p.166 4 行目 (同じミスが 2 ケ所あります) (第 2 刷で修正)
誤: 真正特異点
正: 真性特異点

● p.167 下から 4 行目 (第 2 刷で修正)
誤: また, $z = a$ が真正特異点のときは $\mathrm{ord}_a f(z) = +\infty$ と約束する.
正: また, $z = a$ が真性特異点のときは $\mathrm{ord}_a f(z) = \infty$ (p.5 参照) と約束する.

● p.179 12 行目

誤: 作業仮設

正: 作業仮説

● p.179 下から 8 行目 (第 3 刷で修正)

誤: $a_n = 2^n(a_1 + 6) - (n^2 + 2n + 3)$

正: $a_n = 2^{n-1}(a_1 + 6) - (n^2 + 2n + 3)$

● p.182 5 行目 (第 3 刷で修正)

誤: $a_1 = a_2 = 1,\ a_n = a_{n-1} + a_{n-2}\ (n \geqq 2)$

正: $a_1 = a_2 = 1,\ a_n = a_{n-1} + a_{n-2}\ (n \geqq 3)$

● p.183 上から 5 行目 (第 3 刷で修正)

誤: $\displaystyle\sum_{k=1}^{n} k(k{+}1)(k{+}2)\cdots(k{+}m) = \frac{n(n+1)(n+2)\cdots(k+m)(k+m+1)}{m+2}$

正: $\displaystyle\sum_{k=1}^{n} k(k{+}1)(k{+}2)\cdots(k{+}m) = \frac{n(n+1)(n+2)\cdots(n+m)(n+m+1)}{m+2}$

● p.184 下から 2 行目 (最下の枠囲みの中) (第 3 刷で修正)

誤: $\displaystyle\sum_{i=1}^{n} k^r$

正: $\displaystyle\sum_{k=1}^{n} k^r$

● p.186 下から 8 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $[c,\ c+p]$ の任意の分割 Δ に

正: $[a,\ b]$ の任意の分割 Δ に

● p.187 10 〜 12 行目 (第 2 刷で修正)

誤: (dx が抜けています)

$$\int_{-\pi}^{\pi} \cos mx \, \cos nx = \begin{cases} 0 & (m \neq n \text{ の場合}) \\ \pi & (m = n \text{ の場合}) \end{cases}$$
$$\int_{-\pi}^{\pi} \sin mx \, \sin nx = \begin{cases} 0 & (m \neq n \text{ の場合}) \\ \pi & (m = n \text{ の場合}) \end{cases}$$
$$\int_{-\pi}^{\pi} \cos mx \, \sin nx = 0$$

正:

$$\int_{-\pi}^{\pi} \cos mx \, \cos nx \, dx = \begin{cases} 0 & (m \neq n \text{ の場合}) \\ \pi & (m = n \text{ の場合}) \end{cases}$$
$$\int_{-\pi}^{\pi} \sin mx \, \sin nx \, dx = \begin{cases} 0 & (m \neq n \text{ の場合}) \\ \pi & (m = n \text{ の場合}) \end{cases}$$
$$\int_{-\pi}^{\pi} \cos mx \, \sin nx \, dx = 0$$

● p.197 「ルジャンドル多項式の基本性質」の枠囲み内の 3 行目

誤: $\displaystyle\sum_{n=0}^{\infty} t^n P_n(x) = \left(x^2 - 2tx + 1\right)^{-1/2}$

正: $\displaystyle\sum_{n=0}^{\infty} t^n P_n(x) = \left(t^2 - 2tx + 1\right)^{-1/2}$

● p.204 9 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $u(x, y, x) = \dfrac{1}{\sqrt{x^2 + y^2 + z^2}}$

正: $u(x, y, z) = \dfrac{1}{\sqrt{x^2 + y^2 + z^2}}$

● p.208 下から 4 行目と下から 2 行目, 及び p.209 の 1 行目

誤: シュレジンガー方程式

正: シュレディンガー方程式

● p.209 7 行目と 8 行目

誤: 定常シュレンジンガー方程式, 定常シュレジュンガー方程式

正: 定常シュレディンガー方程式

● p.214 6 行目 **7.1.1 用語** の次の行 (第 2 刷で修正)

誤: $f(x) = \displaystyle\sum_{k=0}^{n} a_k x^k = a^n x^n +$

正: $f(x) = \displaystyle\sum_{k=0}^{n} a_k x^k = a_n x^n +$

● p.215 9 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $\left(a + \dfrac{b}{2a}\right)^2 = \dfrac{b^2 - 4ac}{(2a)^2}$

正: $\left(x + \dfrac{b}{2a}\right)^2 = \dfrac{b^2 - 4ac}{(2a)^2}$

● p.216 下から 3 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $\alpha + \beta = v^3 + w^3 = -q,$

正: $\alpha + \beta = -(v^3 + w^3) = -q,$

● p.217 3 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $-b = \sqrt[3]{\alpha}$, $-c = \sqrt[3]{\beta}$ だから,

正: $-v = \sqrt[3]{\alpha}$, $-w = \sqrt[3]{\beta}$ だから,

● p.239 1 行目 枠囲みの見出し (第 2 刷で修正)

誤: 一般化された AM-GM 不等式

正: マクローリンの不等式

● p.239 下から 5 行目 枠囲み (イェンセンの不等式) の直線の行 (第 2

刷で修正)

誤: $(i = 1,\ 2, \ldots,\ n)$

正: $(i = 1,\ 2, \ldots,\ n),$

(最後にコンマを追加してください)

● p.240 14 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $(a^2 + b^2 + c^2)^3 \geqq (a^3 + b^2 + c^3 - 3abc)^2$

正: $(a^2 + b^2 + c^2)^3 \geqq (a^3 + b^3 + c^3 - 3abc)^2$

● p.240 下から 2 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $a^3 + b^3 + b^3 \geqq a^2b + b^2c + c^2a$

正: $a^3 + b^3 + c^3 \geqq a^2b + b^2c + c^2a$

● p.241 下から 6 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $(a^2 + 1)(b^2 + 1)(c^2 + 1) \geqq (a^2b + 1)(b^2c + 1)(c^2a + 1)$

正: $(a^3 + 1)(b^3 + 1)(c^3 + 1) \geqq (a^2b + 1)(b^2c + 1)(c^2a + 1)$

● p.242 7 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $\dfrac{a^2b}{c} + \dfrac{b^2c}{a} + \dfrac{c^2a}{b} \geqq a^2 + b^2 + c^2$

正: $\dfrac{a^2b}{c} + \dfrac{b^2c}{a} + \dfrac{c^2a}{b} \geqq ab + bc + ca$

注意: $\dfrac{a^2b}{c} + \dfrac{b^2c}{a} + \dfrac{c^2a}{b} \geqq a^2 + b^2 + c^2$ は成立しません．反例は，$a = 2$, $b = c = 1$.

● p.242 10 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $\dfrac{2}{a+b} + \dfrac{2}{b+c} + \dfrac{2}{c+a} \geqq \dfrac{1}{a} + \dfrac{1}{b} + \dfrac{1}{c}$

正: $\dfrac{2}{a+b} + \dfrac{2}{b+c} + \dfrac{2}{c+a} \leqq \dfrac{1}{a} + \dfrac{1}{b} + \dfrac{1}{c}$

● p.242 11 行目 (第 2 刷で修正)

誤: $\dfrac{a+b}{a^2+b^2}+\dfrac{b+c}{b^2+c^2}+\dfrac{c+a}{c^2+a^2} \geqq \dfrac{1}{a}+\dfrac{1}{b}+\dfrac{1}{c}$

正: $\dfrac{a+b}{a^2+b^2}+\dfrac{b+c}{b^2+c^2}+\dfrac{c+a}{c^2+a^2} \leqq \dfrac{1}{a}+\dfrac{1}{b}+\dfrac{1}{c}$

● p.251 最下行 (第 2 刷で修正)

誤: $z=-2,\,-4,\,-6,\ldots$ 以外はすべて $\mathrm{Im}\,z=1/2$ を満たすと予想されている (リーマン予想).

正: $z=-2,\,-4,\,-6,\ldots$ 以外はすべて $\mathrm{Re}\,z=1/2$ を満たすと予想されている (リーマン予想).

● p.255 下から 3 行目 (第 2 刷で修正)

誤: 命題「$a=\sqrt{b}$ ならば $a=b^2$」の逆は

正: 命題「$a=\sqrt{b}$ ならば $a^2=b$」の逆は

● p.259 1 行目 (第 2 刷で修正)

誤: 任意の $i \neq j$ に対し $A_i \cap A_i = \phi$

正: 任意の $i \neq j$ に対し $A_i \cap A_j = \phi$

● p.259 3 行目 (第 3 刷で修正)

誤: 無限個の集合の合併部分

正: 無限個の集合の合併集合

● p.260 図を飛ばして 13 行目

誤: $C_7 : \mathrm{P}_1\mathrm{P}_2\mathrm{P}_5\mathrm{P}_6\mathrm{P}_3\mathrm{P}_7\mathrm{P}_1$

正: $C_6 : \mathrm{P}_1\mathrm{P}_2\mathrm{P}_5\mathrm{P}_6\mathrm{P}_3\mathrm{P}_7\mathrm{P}_1$

● p.264, 下から 7 〜 6 行目 (第 3 刷で修正)

誤: このとき，$|x| < r$ を満たす任意の複素数 x に対し，$F_a(x) = f(x)$ が成立する．さらに，$|x_0| = r$ を満たす複素数 x_0

正: このとき，$|x - a| < r$ を満たす任意の複素数 x に対し，$F_a(x) = f(x)$ が成立する．さらに，$|x_0 - a| = r$ を満たす複素数 x_0

● p.268 下から 5 行目 (第 2 刷で修正)

誤: **根源事象**

正: **根元事象**

● p.269 7 行目 (第 2 刷で修正)

誤: **背反**

正: **排反**

● p.269 10 行目と 17 行目 (2 ケ所あります) (第 2 刷で修正)

誤: 根源事象

正: 根元事象

● p.270 下から 9 行目と下から 8 行目 (2 ケ所あります) (第 2 刷で修正)

誤: 背反

正: 排反

● p.276 下から 2 行目 (第 2 刷で修正)

誤: を平均 μ, 分散 σ の

正: を平均 μ, 分散 σ^2 の

● p.277 3 行目 枠囲み (正規分布) の次の行 (第 2 刷で修正)

誤: を**正規分布**といい，$N(\mu, \sigma)$ で表す.

正: を**正規分布**といい，$N(\mu, \sigma^2)$ で表す.

● p.291 左列 7 行目 (第 2 刷で修正)
誤: 根源事象
正: 根元事象

● p.294 右列 下から 12 行目 (第 2 刷で修正)
誤: 背反
正: 排反

● 記号索引 (第 2 刷で修正)
以下の 2 個の項目のページ番号が間違っていて，正しいページ番号より 1 だけ小さい値になっていました．
(p.286 左 11 行目) $\mathrm{ord}_p\, n$ (オーダー)　244 → 245
(p.286 左 14 行目) $m \equiv n \pmod p$　247 → 248

● 用語索引
以下の 21 個の項目のページ番号が間違っていて，正しいページ番号より 1 だけ小さい値になっていました．
オイラーの定理　262 → 263 (第 2 刷で修正)
確率　268 → 269 (第 2 刷で修正)
ε-近傍　135 → 136 (第 2 刷で修正)
区分求積法　130 → 131 (第 3 刷で修正)
孤立点　261 → 262 (第 2 刷で修正)
最小多項式　116 → 117 (第 2 刷で修正)
シュレジンガー方程式 → シュレディンガー方程式
素因数　244 → 245 (第 2 刷で修正)
素因数分解　244 → 245 (第 2 刷で修正)
対立仮説　279 → 280 (第 2 刷で修正)
単位法線ベクトル　158 → 159 (第 3 刷で修正)
テーラー展開　126 → 127 (第 3 刷で修正)

同値　255 → 256 (第 2 刷で修正)

必要十分条件　255 → 256 (第 2 刷で修正)

一筆書き　262 → 263 (第 2 刷で修正)

負の直交変換　143 → 144 (第 2 刷で修正)

巾級数展開　126 → 127 (第 2 刷で修正)

マクローリン展開　126 → 127 (第 2 刷で修正)

ラゲール多項式　198 → 199 (第 2 刷で修正)

留数　168 → 169 (第 3 刷で修正)

ルジャンドル多項式　196 → 197 (第 3 刷で修正)

連結成分 (グラフの)　261 → 262 (第 2 刷で修正)

謝辞

正誤表の作成にあたっては，下記の方からご協力を頂きました (お名前の掲載の許可を頂いた方のみ).

広義数学者 PDE-M 類太郎 (@reviewer_amzn_m)